

社 会 学

1 構 成 員

	平成17年3月31日現在
教授	1人
助教授	0人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	1人

2 教官の異動状況

佐藤 弘明（教授）（平成11.10.1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成16年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

佐藤弘明：病歴を物語るBaka ピグミーの治療痕，浜松医科大学紀要19：9-24, 2005.

4 特許等の出願状況

	平成16年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成16年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (370万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

佐藤弘明（代表者）文部科学省科学研究費補助金（基盤研究（B）（1））熱帯雨林は人類にとって魅力的な環境か：カメルーン南部熱帯雨林住民の生態人類学的研究 370万（継続）

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	1件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

3) シンポジウム発表

1. 佐藤弘明：Yam question 再考 ヒトは作物なしに熱帯雨林でどう生きるか。

第34回ホミニゼーション研究会「人類前夜の進化学」，犬山，京都大学霊長類研究所

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

佐藤弘明 生態人類学会会長

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成16年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	1件
(3) 学内共同研究	0件

(2) 国内共同研究

山内太郎（東京大学医学系大学院）アフリカ熱帯雨林狩猟採集民の基礎代謝，運動代謝
川村協平（山梨大学人間教育学部）アフリカ熱帯雨林狩猟採集民の基礎代謝，運動代謝
平成16年度文部科学省科研費

10 産学共同研究

	平成16年度
産学共同研究	0件